



自治会を中心として

まちづくり委員会に約 20 名が参加し、環境整備や野菜づくり（みんなで食べる）、盆踊りや町民祭、年賀交流会などの行事を実施しています。

町民祭は大人御輿と子ども御輿があり、2 日間実施。165 名が準備に当たったそうです。高齢者を中心とした旅行を定期的に企画し楽しみにしている自治会もあるようです。



役員の皆さんの声

リーダーが大事。地区社協の会長も自治会連合会長も熱心。

主催者が 1 団体だけではうまく行かない。何事も協力が大事。

高齢化が進む中、独居老人へのフォロー体制が不十分。

地域の要望を汲み上げる仕組み

活動の主体が高齢化。若返りが望まれる。

予算の問題。花ひとつ植えるにも自前。自治会館は老朽化し、手狭になっている。

自治会に加入しない人、活動に関心がない人も多い。役員の受け手が少ない

定例会合以外の行事への参加者が少ない



取材を終えて

まず、互いに信頼しあい、協力してまちづくりに努力されていることに敬意を表します。

自治基本条例から見たとき、地域全体の課題を検討し、行政と協働しながらまちを良くするためには、コーディネーター等による地域活動の支援や様々な団体を調整する中央機関が必要だと感じました。

「何事も協力が大事」。祭りという行事に始まり、協力が成功をもたらし、そのことがさらに協力を促すという正の循環を約 20 年重ねて今がある、素晴らしいことだと思います。



役員の皆さんと市民の会委員

高齢化が悩みということがありましたが、元気な高齢者が活躍している姿を子どもや若手に見せていくことも大事です。参加を促す工夫も様々されています。

市全体を見たとき、地区社協と自治会連合の地区割りにズレがあるという課題も再確認できました。